

1.『教えることは二度学ぶこと』 永藤かおる

いつも代表の岩井が書いているこの欄、いきなりワタクシ、永藤が書き始めたので驚かれた方もいらっしゃるかもしれませんが、ご安心ください、岩井は元気です。これからはヒューマン・ギルドのスタッフも、このメールマガジンに積極的に参加させていただきますので、なにとぞよろしくお願いいたします。反響をいただくとやる気もでるものです。

さて、ヒューマン・ギルドでは、アドラー心理学ベーシックコース、SMILE(愛と勇気づけの親子関係セミナー)を修了し、さらに学びを深めたい、という方のために、定期的に3つの『養成講座』を主催しています。

ELM 勇気づけトレーナー養成講座、SMILE リーダー養成講座、そしてアドラー・カウンセラー養成講座です。

https://www.hgld.co.jp/p_lecture.html

この三つの講座は、前述の『学びを深めたい』方に対して、ぜひ「アドラー心理学をベースとした勇気づけをしたり、子育て・対人関係の改善を促したりする機会、そしてカウンセラーとして社会に貢献する機会を手にしてほしい」という強い考えが根底に流れています。

私自身がそうでしたが、ベーシックや SMILE で、ある種のアハ体験...「ああ、そういうことだったのか!」とか、こんがらがった糸がずっとほどけるような感覚とか、ピカッと豆電球がついたような閃き...をした方は多いのではと思います。ヒューマン・ギルドで学ぶ前は「Ms.不適切行動」だったワタクシ、前がひどかった分このアハ体験があまりにも多すぎて、これを人に伝えない手はない、と今のポジションにあるようなものです。

そして人に伝えるためにしなければならないのは、どうすれば適切に伝わるのかを考えること。一度習ったこと、マニュアルがあるならそれに書いてあることをまず忠実に、多分最初は猿真似から。でも、それだけではすぐにメッキが剥がれます。思いもかけないような質問にあたふたしたり、言葉につまったりして、キレイに貼ったはずのメッキがボロボロに剥げて恥をかく、そして恥をかいたら悔しくて、もういちど「勇気づけをさらに掘り下げたら」「共同体感覚ってどうすればもっとつたわるのかな」「あの時の質問がもう一回来たら、今度は相手が納得してくれるような答えを用意しよう」「違う心理学ではどんな風に捉えているのかな」と本を開き、教えるを乞うために自ら扉を開くのです。インプットし、アウトプットをすることで、さらなるインプットが必要であることに気づき、それを繰り返すうちにいつかメッキのいないカウンセラー、トレーナー、リ

ーダーになっていくのだと思います。

タイトルの『教えることは二度学ぶこと』は、学生時代に英語の授業で登場し、2年前にもう一度英語を勉強しなおしたときに再会した印象的なフレーズです。

SMILE リーダーや ELM トレーナーを取得して、でもまだ講座を開いていない皆さん！ やったことはあるけど休止しているという皆さん！ ぜひ皆さんの知識を、知恵を、勇気を、共同体感覚を、周りの方に届けてください。そしてなにか問題や課題が出てきたら、私たちにご相談ください。SMILE リーダーや ELM トレーナーの悩みを分かち合う会も今年から始めました。1 月には京都でも SMILE リーダー／ELM 勇気づけトレーナーの集いが開催されます。

https://www.hgld.co.jp/p_lecture/view/585

皆さんの、リーダー業、トレーナー業、そしてカウンセラー業を、ヒューマン・ギルドは全力で応援します！

=====